

将来のごみの分別収集体制案に係る住民説明会 質疑応答(要旨)

質問1 現在は、ビンとガラスを一緒に出していたが、今後はビンと分けて不燃物に出すとのことである。その場合、ガラスはどのように処理・再利用されるのか。

回答1 現在は、ビンと合わせて処理・再利用を業者に頼んでおり、カレットとして再利用されている。新施設の場合は、不燃ごみとして分別して処理する方法を考えている。処理方法は様々な処理方法があるため、今後の施設整備基本計画で検討する。

※カレット…ガラスを原料用に細かく砕いたもの。

質問2 プラスチックは現在分別していないが、新しく分別するということで再利用するということか。SDGs 推進の観点から進めるべきと考えるため、プラスチックの分別が推進されるよう基準がわかりやすいようにしてほしい。

また、現在週4回のごみ出しになっていると思うが、プラスチックごみが増えることになるので、週5回のごみ出しになるのか。

回答2 プラスチックについては、令和4年4月施行のプラスチック資源循環促進法に基づいた分別を行う予定である。詳細な品目や基準については、まだ国から提示されていないため、国の動向を注視する。また、収集回数については、処理工程に関わるため検討中ではあるが、違う品目を同じ日に排出する方法もあるため、引き続き検討する。

質問3 粗大ごみの持ち込みはどうか。また、事業系ごみの説明はなかったが、スーパーでもごみを回収していると思う。そのような事業系ごみはどのように処理されるのか。

回答3 粗大ごみの持ち込みについては、処理工程に関わるため、今後の施設整備基本計画で基準などを決定する。事業系ごみは内容によって一般廃棄物と産業廃棄物に分けられ、大半が産業廃棄物であるが、現在、市では一般廃棄物のみ処理を行っている。そのため、スーパーでのごみの回収については、市を通さず処理しているため、どういう処理工程かは把握していない。

質問4 新施設稼働後、西貝塚環境センターとわくわくランドはどうか。

回答4 一つの施設に集約するため、西貝塚環境センターは不要となるが、どうするのかはまだ決まっていない。わくわくランドも決まっていないが、もし仮に残すことになったら、施設内でお湯を沸かして運転することになる。

質問5 西貝塚環境センターの敷地は市の所有物か。

回答5 市の所有物ではあるが、敷地のうち、さいたま市域も入っている。

質問6 実施主体として、一部事務組合を設立するのか。

回答6 実施主体については、伊奈町と現在協議中である。

質問7 現在の西貝塚環境センターと伊奈町クリーンセンターを合わせた敷地より広いのか。

回答7 災害廃棄物の仮置き場なども想定しているため、広い。

質問8 現在、地区には外国人も住んでいるが、なかなかごみ出しについて理解を得られない。新施設稼働の際には、外国語に対応している配布物などあるか。

回答8 現在、スマートフォンアプリでごみ出しアプリ「さんあ〜る」というアプリがあり、その中で外国語対応しているページがある。現状は、そちらをご案内いただければと思う。

質問9 新施設の候補地は借地になる予定か。また、民間運営手法を導入する予定か。

回答9 土地は買収する予定である。民間運営手法については、今後の施設整備基本計画で検討する。

質問10 新施設における排熱の利用は今後検討するのか。

回答10 排熱の利用方法は、今後の施設整備基本計画で検討する。

質問11 牛乳パックについては牛乳以外の紙パックは含めていいのか。含めてもいいのであれば、名称は「紙パック」でもいいのではないか。

回答11 内側がアルミ箔のものでなければ、排出可能である。そのため、名称については意見として承る。

質問12 焼却灰の埋め立ては現在どうしているのか。

回答12 最終処分場に埋め立てることになるが、上尾市にはないため、埼玉県寄居町、山形県米沢市、群馬県草津市の最終処分場に持ち込んでいる。

質問13 令和15年度の新施設稼働に合わせて、新しい分別体制を本格的実施するとなっているが、令和15年度に急に始まるのか。

回答13 周知や啓発のため事前に暫定実施する予定である。その際は、環境美化推

進員など協力を得ながら進める。

質問14 候補地について、地権者数、購入経費は。また、プラスチックを分別する場合は、別途収集日を設けるのか。

回答14 まだ用地が確定していないため、地権者数や購入経費についてはまだお答えできる段階ではない。また、プラスチックの収集日については、まだ国より基準が示されていないため、排出内容によっては他の品目と合わせてごみ出しできる可能性も考えられる。そのため、収集体制については引き続き検討する。

質問15 プラスチックはよく燃えるため、可燃ごみからプラスチックを除くのは少し引っ掛かる。ペットボトルなどリサイクルできるものと一緒に分別したほうがいいのか。

回答15 プラスチック製容器包装という名称で区分を設ける予定となっているが、あくまでペットボトルと同じ資源物ではあるため、可燃ごみと差別化できると考える。いずれにせよ住民にわかりやすいように分別内容の記載には注意する。

質問16 令和4年4月施行の法令により、プラスチックの分別が努力目標になっているはずである。上尾市としては、令和7年度までに決定するという事か。また、プラスチックの分別の基準は決まっているのか。なるべく早い段階で実施できると効果的であると考えている。

回答16 令和7年度に施設整備基本計画を策定予定であるため、その時点で分別の詳細が決定する予定であるが、プラスチックの排出内容については、国から示されていないため、方針が示されてから検討する予定である。

質問17 市民コメントは所定の様式があるか。また、地域リサイクル事業の品目については、変更はあるか。

回答17 市民コメントの所定の様式は、設置場所に備え付けてあり、ホームページにも掲載している。また、地域リサイクル事業の品目については、時代の流れによっては、収集量の減少や、価格の変動があるため、変更になる可能性はあるが、事業としては基本的には継続する方向で考えている。

質問18 ボタン電池については、行政回収の対象ではなく、販売店などに持ち込むこととなっていると思うが、高齢の住民にとっては分別が難しいという方も多い。市で回収して処理することはできないか。

回答18 ボタン電池の処理は特殊な処理が必要であるため、販売店に持ち込むことになっている。仮に、上尾市が乾電池と一緒に拠点回収するとすると、施設内で選別することとなり費用がかかってしまうため、現在の上尾市の収集体制では対応することは難しい。

質問19 高齢化が進むと、ボタン電池を販売店に持ち込むことは難しくなる。そのため、正規のルートで処理される方法を考える必要がある。自治会でボタン電池の回収ボックスを用意して、自治会がまとめて販売店に持ち込むことは可能か。

回答19 原則はボタン電池を買った販売店となるため、対応は難しいと考える。

意見1 プラスチックを再利用することで、どのくらい地球温暖化問題に貢献することができるかを意識して、事業を今後進めてほしい。

意見2 伊奈町と共同で新しい施設を作るのだから、住民に喜ばれるような良い施設を整備すべきである。専門家も含めて検討するなど、時間をかけて十分検討してほしい。

意見3 地域によっては、20品目以上分別している地域もあるようである。どのレベルまで実施するかにもよるが、ソフト面については先進事例を研究し、住民に理解を得られるよう進めてほしい。また、ハード面については、他の施設を参考に情報共有してほしい。

意見4 今後もこのような説明会を設けて、随時報告してほしい。また、今回の住民説明会も広報に掲載していると思うが、広報自体を見ていない人も多い。関心のある住民も多いはずであるため、住民へ効果的な周知を行ってほしい。

意見5 高齢の方が増えて、分別はできても、集積所まで持っていけない人が増えている。収集方法なども併せて検討できればと思う。

意見6 スケジュールでは令和8年度に住民説明会を実施するとのことだが、今まで可燃ごみで出していた習慣があるため、事前に効果的な啓発をしてほしい。

意見7 ごみの集積所は私有地を借用して運用しているが、今後土地を提供されないケースが増え、集積所が減少する可能性がある。将来的な話にはなるが、対応策を検討してほしい。